

2025年度 下半期財政状況

(下半期：2025年10月～2026年3月)



市では、皆さんに財政状況を知っていただくため、年に2回、**図 財政課 Tel0299-90-1129** 予算の執行状況や収入状況をお知らせしています。

一般会計・特別会計

一般会計：市の基本的活動に必要な経費を賄う会計です
特別会計：特定の収入で特定の事業をおこなう会計です

| 会計 | 予算額 | 歳入 | | 歳出 | |
|---------|-------------|-------------|-------|-------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入割合 | 支出済額 | 執行割合 |
| 一般会計 | 492億7,620万円 | 438億9,205万円 | 89.1% | 418億7,449万円 | 85.0% |
| 国民健康保険 | 99億3,011万円 | 83億9,367万円 | 84.5% | 83億5,348万円 | 84.1% |
| 介護保険 | 62億6,710万円 | 62億5,217万円 | 99.8% | 55億1,766万円 | 88.0% |
| 後期高齢者医療 | 13億2,515万円 | 12億7,543万円 | 96.2% | 11億4,405万円 | 86.3% |
| 特別会計小計 | 175億2,236万円 | 159億2,127万円 | 90.9% | 150億1,519万円 | 85.7% |
| 合計 | 667億9,856万円 | 598億1,332万円 | 89.5% | 568億8,968万円 | 85.2% |

企業会計

民間企業と同様に、利用料金などの収益で運営しています

| 水道事業会計 | 予算額 | 執行額 | 執行割合 |
|--------|------------|------------|-------|
| 収入 | 44億9,736万円 | 36億6,945万円 | 81.6% |
| 支出 | 56億3,859万円 | 43億 769万円 | 76.4% |

| 下水道事業会計 | 予算額 | 執行額 | 執行割合 |
|---------|------------|------------|-------|
| 収入 | 29億3,331万円 | 25億7,771万円 | 87.9% |
| 支出 | 32億7,481万円 | 29億7,015万円 | 90.7% |

市債

| 区分 | 現在高 |
|---------|-------------|
| 一般会計 | 212億9,653万円 |
| 水道事業会計 | 44億3,822万円 |
| 下水道事業会計 | 100億3,149万円 |
| 合計 | 357億6,624万円 |

基金

| 種別 | 現在高 |
|------------|------------|
| 財政調整基金 | 40億1,316万円 |
| 減債基金 | 3億9,838万円 |
| 学校教育施設建設基金 | 1億2,164万円 |
| 公共施設整備基金 | 2億 325万円 |
| その他 | 25億8,728万円 |
| 運用基金 | 9億8,500万円 |
| 合計 | 83億 871万円 |

※積立基金の「その他」は、協働のまちづくり推進基金・神之池用水機場等施設維持管理基金などがあります
※運用基金は、土地開発基金・飯田愛子奨学基金などがあります

蚊・マダニによる感染症に注意！

図 健康増進課 Tel0299-92-0141

春から秋にかけて、蚊やマダニの活動が活発になります。これらが媒介する感染症は、時に生命に関わる重篤な症状を引き起こす可能性があります。予防するためには、蚊に刺されたり、マダニに咬まれたりしないようにすることが大切です。

蚊が媒介する感染症

日本脳炎、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症 など

マダニが媒介する感染症

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病 など

主な予防対策

蚊

- バケツや植木鉢の水受け皿の水の除去
- 雨どい、排水溝の詰まりの清掃
- 雑草や樹木の手入れ

マダニ

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻く
- シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
※野外活動後は入浴し、マダニに咬まれているか確認しましょう。特に脇の下、足の付け根、手首、膝の裏、頭部(髪の毛の中)などは注意
- ペットの対策
 - 駆除薬の使用などによる虫除け
 - ブラッシング
 ※外から帰宅したら、マダニに咬まれているか確認しましょう

共通

- 肌の露出を少なくする
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

マダニに咬まれたら

- 無理に取り除こうとせず、皮膚科などの医療機関(動物の場合は動物病院)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状が認められた場合は、医療機関を受診してください

【受診時に医師へ伝えること】

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



お元気ですか?
保健師です

6月4日～10日は歯と口の健康週間

図 健康増進課 Tel0299-90-1331

昨年10月に実施した健康づくりに関する市民アンケート調査では、「現在、あなたの歯は何本ありますか?」の質問に対し、「全部ある」と回答した方は23.6パーセントで、2021年度調査結果の27.0パーセントと比較すると、割合が低下しています。

歯が抜け落ちる主な原因は歯周病とむし歯です。歯周病は歯だけでなく、全身の疾患(狭心症・心筋梗塞、糖尿病、骨粗しょう症、低体重児出産など)にも影響することが明らかになっています。

歯周病は、早期発見・早期治療が大切

年に1回以上は、歯科・歯周病検診を受けましょう。今年度中に20・30・40・50・60・70歳になる方には、4月下旬に歯周病検診受診券を郵送しました。歯周病検診を受け、健康な歯を守りましょう。

